

第72回全国学校給食研究協議大会第3回実行委員会議事録

日時：令和3年8月25日（水） 15:00～15:30

場所：道庁別館7階 教育委員会室

出席者及び欠席者

北海道教育委員会教育長	倉本博史
札幌市教育委員会教育長	檜田英樹(オンライン出席)
北海道学校給食研究協議会会長	高森裕司(オンライン出席)
公益財団法人北海道学校給食会理事長	千葉俊文(オンライン出席)
北海道小学校長会会長	吉田信興(オンライン出席)
北海道中学校長会会長	三浦利章(オンライン出席)
北海道特別支援学校長会会長	友善学(オンライン出席)
北海道PTA連合会会長	菊川哲平(欠席)
北海道学校栄養士協議会会長	小野寺由希恵(オンライン出席)
北海道教育庁学校教育局指導担当局長	中澤美明
札幌市教育委員会学校施設担当部長	松原和幸(オンライン出席)

運営者

北海道教育庁学校教育局健康・体育課課長	泉野将司
北海道教育庁学校教育局健康・体育課課長補佐	糸畑啓
北海道教育庁学校教育局健康・体育課課長補佐	山際昌枝
北海道教育庁学校教育局健康・体育課学校給食振興係係長	長岡敬一
北海道教育庁学校教育局健康・体育課学校給食振興係主任	福岡一輝
北海道教育庁学校教育局健康・体育課学校給食振興係主事	一條智明
北海道教育庁学校教育局健康・体育課学校給食指導係指導主事	高橋明子(欠席)
北海道教育庁学校教育局健康・体育課学校給食指導係指導主事	三好明子

議事 第1号議案 第72回全国学校給食研究協議大会会場借上契約について

説明 大会準備の進捗状況について

1 開会

○ 泉野事務局長

ただ今から、「第72回全国学校給食研究協議大会第3回実行委員会」を開催いたします。
会議に入らせていただく前に、御報告いたします。

実行委員会会則第8条第5項に、「会議は、委員の3分の2以上の出席をもって成立する。ただし、代理者を定めたとき又は委任状により意志を表示したものは出席とみなす。」と規定されています。

本日、会場には2名、リモートで8名の参加をいただいております。また、欠席者は1名おりますが、委任状の提出がありましたので、本会議が成立しておりますことを報告します。

それでは、開会に当たりまして、北海道教育委員会倉本教育長から御挨拶申し上げます。

2 挨拶

○ 倉本教育長

第72回全国学校給食研究協議大会第3回北海道実行委員会の開催に当たりまして、一言、御挨拶を申し上げます。

本日は、御多用の中、御出席いただきまして、誠にありがとうございます。

また、皆様には、日頃から学校給食の充実・発展並びに食育の推進に、御尽力をいただき、改めて感謝申し上げます。

さて、本大会の開催に向け、7月に第2回実行委員会を紙面開催させていただいた後、運営委員会の各部会を中心に、本格的な準備に取り組んでいただいております。

現在、猛威を振っている新型コロナウイルスの感染状況が10月の大会当日には、どのように変化しているのか、予測が難しい状況ではありますが、安全な大会運営のもと、これまで準備を進めてきた取組が実行できるよう対策を講じているところでございます。

本日は、議案の協議とともに、大会準備の進捗状況等を確認し、皆様から忌憚のない御意見を伺い、大会当日に向けて、万全の準備を運営委員会及び事務局をお願いしていきたいと考えております。

結びになりますが、子どもたちが変化の激しい社会を生きるために必要な「生きる力」を育むため、第72回全国学校給食研究協議大会が、学校・家庭・地域が一体となった食育の一層充実した取組につながる有意義な大会となりますよう、皆様のお力添えをお願い申し上げ、挨拶といたします。

どうぞよろしくお願ひいたします。

○ 泉野事務局長

第2回実行委員会(書面開催)において連絡事項としていましたが、実行委員会設立当初から交代された委員がおりますので、紹介いたします。

ただ今御挨拶いたしました、実行委員長であります、北海道教育委員会倉本教育長でございます。副委員長であります、札幌市教育委員会檜田英樹教育長でございます。

なお、檜田教育長におかれましては、他の用務のため、途中で退席される予定となっております。同じく、副委員長であります、北海道学校給食研究協議会高森裕司会長でございます。

○ 泉野事務局長

本会議は、お手元の次第に沿って進めてまいります。

第1号議案、説明資料を配布させていただいておりますので、資料の確認をお願いします。

それではここからの進行は議長をお願いします。

○ 倉本委員長

それでは、議長を務めさせていただきます。

皆様方の御協力をお願いいたします。

3 議事

(1) 第1号議案 第72回全国学校給食研究協議大会会場借上契約について

○ 泉野事務局長

それでは、御説明いたします。資料をご覧ください。

本議案は、大会会場の借上契約について、資料のとおり契約締結の事務処理を進めることを、実行委員会に諮るものです。

「2 会場名及び期間」をご覧ください。

会場を「ホテルライフオート札幌」としており、必要な部屋、時間は資料のとおりです。

なお、備考欄に、使用目的を記載しております。

「前日準備有」と記載の部屋については、WEB開催用の機材等のセッティングを前日から行う部屋です。

次に「4 業者選定理由」をご覧ください。

令和3年2月16日の準備委員会で、大会開催形式を集合形式からオンライン形式へ変更することを決定した際、新たな会場として、会場規模、予約状況、予算、WEB環境等を勘案し、ホテルライフオート札幌が選定されております。

○ 倉本委員長

第1号議案について御意見・御質問がございましたらお願いします。

それでは、第1号議案についてお諮りします。御承認いただけますか。

○ 各委員

異議はありません。

○ 倉本委員長

ありがとうございました。

第1号議案については、原案のとおり承認とさせていただきます。

(2) その他

○ 倉本委員長

事務局で予定している議案については1件でございますが、皆様から何か御提案されます議題がありましたら、お願いいたします。

○ 各委員長

ありません。

4 説明

○ 倉本委員長

次に、次第の4の「大会準備の進捗状況」について、事務局から説明願います。

○ 山際事務局次長

大会準備については、4月に第1回実行委員会で御承認いただきました運営委員会の組織の下、5月には、第1回運営委員会を開催し、具体的な事業計画について協議した後、それぞれの部会ごとに準備を進めております。

私からは、運営委員会及び委員会に属する総務、企業、展示・弁当の3部会の進捗状況を報告させていただきます。

はじめに資料の訂正とお詫びを申し上げます。

7月上旬に第2回実行委員会を書面開催し、今回の実行委員会が第3回、2月が第4回実行委員会となりますが、訂正されていない資料がありましたので、改めて訂正とお詫びを申し上げます。大変失礼いたしました。

まず、総務部会について報告いたします。

説明資料の1ページを御覧ください。

6月までに、後援名義の申請、分科会発表者及び指導助言者の正式依頼等を行うことができましたが、

シンポジウムについては、7月に文部科学省との調整がつき、資料2ページ目、3ページ目の開催要項等について、臨時で書面開催させていただきました第2回実行委員会で承認をいただいたところです。

開催要項は、予定より遅れましたが7月下旬に、5ページの御案内とともに、6～10ページのとおり、各都道府県等及び道内の各市町村教育委員会、道立学校に通知し、参加対象者に広く周知いただくよう、お願いしております。

参加期待数は、1500人を目標としており、各都道府県には30人の期待数をお示しするとともに、道内においては500人を期待して、各関係団体等をお願いしておりますが、8月22日現在の申込み状況は、全体で311名、そのうち道内参加者は102名です。申込期日は、9月10日までとしておりますが、2月と5月に予報として案内をさせていただきましたが、今のところ効果が見られず、大変厳しい状況と考えております。この後、各管内には職種別に具体的な期待数を提示させていただき、各関係団体からさらなる働き掛けをお願いしたいと考えております。

今後の予定について、分科会の発表者の原稿については、指導助言者並びに文部科学省からの指導助言いただき、関係都道府県教育委員会で最終原稿を調整しており、印刷業者との契約手続きも進み、大会1週間前には、参加者のお手元に大会誌が届くよう準備を進めているところです。

また、シンポジウム及び分科会の進行要領については、オンラインであっても十分研究協議が深められるよう、文部科学省、配信委託業者との調整を十分図り、関係者との打合せをし、準備等を進めているところです。

関係者の参集については、現在の段階では、参加者はオンラインで参加し、文部科学省、シンポジスト分科会発表者及び指導助言者等の関係者は、配信会場に集合するよう準備を進めております。コロナの感染状況によっては、リモートで参加を希望する関係者が出てくることもやむを得ないとは考えておりますが、接続先のインターネット環境の安定性や、リモートでのやりとりによるタイムロスの発生など、様々な課題に対する対策が必要になると考えております。

次に、広告・企業展示部会について報告いたします。

説明資料の11ページを御覧ください。

現在、64の業者から協賛の申込みがあり、大会誌への広告料として330万5千円の協賛金や商品、弁当の開発費用等の支援をいただいております。

大会誌に広告を掲載するほか、希望する事業者にはCM動画を提供いただき、大会2日間の受付時間や休憩時間を利用して、CMを配信する予定です。また、広告の掲示方法として、8分科会の発表者の背面を利用して広告を貼り付ける工夫を考えていただいております、順調に準備を進めております。

資料12ページは、協賛いただいている事業者の一覧です。これに、北海道ぎょれん、コープさっぽろを加えて、64社となります。

次に、展示・弁当部会について報告いたします。

説明資料の13ページを御覧ください。

展示係は、本来集合で開催した場合、会場フロアにパネル等で各管内の学校給食や食育の取組状況等を展示する予定でしたが、オンラインで無観客開催となったため、プレゼンテーション動画を作成し、取組を発表する形式にいたします。現在、北海道学校給食研究協議会栄養部会、札幌市学校給食栄養士会を中心に、地場産物を活用した学校給食の取組などを各管内でテーマを決めて、制作中です。

資料の14ページから16ページに、中間報告で上がってきた空知管内のプレゼンの参考例を掲載してお

ります。

次に、弁当係について報告いたします。

弁当も本来集合で開催した場合、分科会参加者に販売提供し、開催県の地場産物や郷土の食をPRしてきましたものです。本大会では、大会2日目の分科会の発表者、指導助言者等の関係者に提供するとともに、大会誌への掲載、受付の時間を利用したプレゼンテーションの配信を通じて、「我が国有数な食料供給地域と言われる北海道の豊かな食材と郷土の食をPRするとともに、SDGsの視点を取り入れた食の在り方などを全国に向けて発信する」という目的で、弁当開発を行っています。

弁当開発に当たっては、北海道特別支援学校栄養教諭研究協議会、札幌市学校給食栄養士会から8名協力者を出していただき、コープさっぽろの支援をいただきながら、8月に2回試食会会議を設け、資料18ページのとりの献立案ができあがったところです。

「どさんこ創造弁当 ～歴史から学び明るい未来へ～」というネーミングも弁当係会議で考案され、今後は、大会誌原稿及び弁当の紹介のプレゼンテーションを制作し、開発コンセプトを発信する予定となっております。

○ 糸畑事務局次長

「第72回全国学校給食研究協議大会【運営部会】」関係について報告させていただきます。

当日までの準備として、全体会や分科会の会場セッティングや調整、表彰など式典の準備などが主な業務としている運営部会関係ですが、ただいまその他の部会の報告にもありましてとおり、大会運営の詳細については、運営委員会で協議の上、進めているところです。

本日は運営部会関係の主なものについて、説明いたします。

まず、資料の19ページをご覧ください。

「第72回全国・運営部会の業務実施計画表」として、担当者、業務内容、実施計画等を整理しているところです。

8月25日(本日)ですが、第2回実行委員会としていますが、先ほども触れたとおり、7月下旬に臨時で第2回実行委員会を書面で開催しましたので、第3回となりますが、8月の実施計画として、「来賓・主催者の行動計画の作成」「会場図の調整・完成」「来賓及び受賞者等の名簿作成」としてはありますが、まだ確定しておりません。やや計画より作業が遅れているのが現状で、現在も調整しているところです。

20ページをご覧ください。

開会式日程(案)について、説明いたします。

これまでの他県の大会を参考に、資料のとりの流れを予定しています。現時点では、来賓、主催者の出席等については、出席予定である方、未確定である方、それぞれおりますが、文部科学省関係として、担当課長と2名の調査官、全国学校給食会連合会の会長が現時点では会場での出席予定であることを確認しているところです。

なお、下にも記載していますが、挨拶等について、特に※印のところですが、代理出席や新型コロナウイルス感染症の状況により、会場ではなく挨拶を事前に録画収録するなどの対応について現在検討・調整しているところです。

また、ここに記載の挨拶を一部割愛させていただく等の可能性もあるかと思えます。

次に、21ページをご覧ください。

21 ページ、22 ページは各コマの登壇者のレイアウト（案）です。

開会式における登壇者レイアウト（案）について説明いたします。

21 ページの一番上にありますが、今お話しした開会式についてですが、これまでの大会を参考に、想定される来賓等の皆さんが出席されることをイメージしたものです。

文部科学省、北海道、札幌市その他、全国学校給食会連合会など登壇する主催者については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、最小限度の人数でと考えています。

ここに記載の方の代理の場合は、そのままの配置とを考えているが、出席されない方がいる場合は配置を調整する予定です。

この開会式のレイアウトの他、文部科学省説明やキーノート・スピーチ、シンポジウム、2 日目目の分科会など、他のコマの配置（案）についても記載しておりますが、本日詳細な説明は省略させていただきます。

その他 23 ページには、開会式後に実施される文部科学大臣表彰表彰式の進行要領（案）や、24 ページには開会式の前に実施する表彰者の写真撮影隊列（案）なども参考に添付しているので、後ほどご覧ください。来賓等については、新型コロナウイルス感染症の状況にもよりますが、可能な限り 9 月中を目途に出席される方を確定する方向で進めているところです。文部科学大臣表彰受賞者についても、本来であれば全国の各都府県から受賞者が会場に来られるわけですが、現在の状況では授賞式に実際会場に来られる方はかなり少なくなるのではないかと想定していますが、これも来賓等と同様、9 月中を目途に表彰の出席者を確認する予定です。

運営部会の関係の報告は以上ですが、詳細に説明で触れなかった部分がございますので、後日資料をご覧くださいまして、何かお気づきの点、御不明な点、御意見等がございましたら、お手数ですが、事務局まで御連絡いただければと思います。

○ 倉本委員長

ただ今説明があった「大会準備の進捗状況」について、何か御意見・御質問ございましたらお願いします。

○ 各委員

ありません。

○ 倉本委員長

大会当日まで 2 ヶ月となり、準備が本格化していく中で、運営部会の中で一部遅れているところがありますが、遅れている部分につきましては、これから十分に調整し挽回していくということです。また、説明の中にもありましたが、新型コロナの感染状況によっては、こちらの会場に来られない助言者等も出てくるかと思っておりますので、オンラインでの対応についても、関係者で情報共有をしながら進めていってください。

最後に全体を通しまして、何か御意見・御質問、話題提供等がございましたらお願いします。

○ 各委員

ありません。

○ 倉本委員長

それでは、本日予定している全ての議事及び説明につきましては以上でございます。

御協力ありがとうございました。議長の任を解かせていただきますので、進行を事務局に戻しま

す。

5 閉会

○ 泉野事務局長

倉本委員長ありがとうございました。委員の皆様、御審議いただきまして、ありがとうございました。

改めまして、委員の皆様には、大会開催までの間、引き続き諸準備に御支援賜りますようお願い申し上げます。

なお、本日の実行委員会議事録については、後日送付させていただきますので、内容等の確認についてもよろしくお願いたします。

また、第4回実行委員会につきましては、大会終了後、来年2月に開催したいと考えております。

開催に当たっては、日程等を調整させていただきますので、御協力いただきますよう、お願い申し上げます。

それでは、以上をもちまして、第72回全国学校給食研究協議大会第3回実行委員会を終了させていただきます。

本日は、お忙しい中、御出席いただきまして、誠にありがとうございました。